

一般財団法人 日本水路協会認定

水路測量技術検定試験

受験手続の手引き

1. 受験願書類記入の一般的注意事項

- (1) 水路測量技術検定試験案内（以下「試験案内」という。）を熟読の上、記入してください。
- (2) 記入にはペン又はボールペンを用い、文字は楷書、数字は算用数字1, 2, 3, …で、わかり易く記入してください。
- (3) 該当する項目の□の中にはV印を記入してください。
- (4) ※記のある欄には記入しないこと。
- (5) 水路測量に関する実務経歴は記入例を参照してください。

2. 受験願書の記入要領

受験願書 1/2 の記載について

- (1) 「初回受験者」とは、次の場合です。
 - ・各級のいずれかを初めて受験する場合
 - ・沿岸1級及び港湾1級の1次試験全科目に合格した者で、2級を1次免除で受験する場合
- (2) 「2回目以降受験者」とは、次の場合です。
 - ・前回までの試験において不合格科目を有する者が、その科目を再度受験する場合
 - ・初回の試験において、欠席した者が再度受験する場合
- (3) 2回目以降の受験者又は級を切り替えた受験者は、前回受験した年度を記入すること。
- (4) 試験の種類及び志望の級は、それぞれ一つだけ選択すること。
- (5) 氏名、連絡先（送付先）、勤務先にフリガナを付けること。
- (6) 写真は記載事項のとおり必ず貼付すること。
- (7) 写真はデジタル画像の貼り付けでも可とするが、画質等の状態が不鮮明な場合は受験願書を受付ない場合があるので注意すること。
- (8) 勤務先（または連絡先）のメールアドレスを記入のこと。
- (9) 勤務先は会社名（支店名及び部署名等を含む）、郵便番号、所在地及び電話番号を記入すること。
- (10) 沿岸1級及び港湾1級を受験する場合は該当する項目の□の中にV印を記入すること。
- (11) 測量士又は測量士補の資格を有する者は、基準点測量の免除申請欄の□の中にV印を記入すること。ただし、1級受験者は測量士の場合のみ記入すること。
- (12) 資格欄は該当する項目の□の中にV印を記入し、登録番号及び登録年月を記入すること。

(13) 試験免除申請は試験案内の「6. 1次試験の免除」に該当する場合のみとする。

(14) 受験する試験に合格科目がある場合は必ず□の中にV印を記入すること。

受験願書 2/2 の記載について (2級港湾級受験者は提出不要な場合がある。)

(15) 前項での合格科目がある受験者は合格科目に○印を必ず記入すること。

(16) 水路測量に関する実務経験は、新しいものから具体的に記入すること(記入例参照)。記入欄が不足するときは、用紙を継ぎ足して記入すること。

ただし、実務経験を免除条件としない場合には、記入する必要はありません。

(イ) 水路測量とは、水域の測量及びこれに伴う土地の測量をいい、水路測量の種類には、

①基準点測量、②海岸線測量、③潮汐観測、④水深測量 (海上位置を含む) がある。

(ロ) 水路測量に関する実務経験年数とは、上記の①から④までの水路測量の種類それぞれについて通算した経験年数の合計をいう。ただし、各級の試験科目にないものは除く。

(17) 従事した主要水路測量欄は、「水路測量に関する実務経験」欄の番号と対応させること。

作業の名称は、契約上の名称を原則とし、「審査基準」をよく読んで、記入すること。

(記入例参照)

(18) 2回目以降受験者は受験を申請する科目の、記入欄に○印(黒色)を記入すること。

(19) 下位の級に切り替えて受験する者は、2回目以降受験科目申請欄中に新に受験する級の受験科目に○印(黒色)を記入するとともに、前回までに受験した上位の級の合格科目を赤色の○印で記入すること。

(20) 1次試験免除申請者中、実務経験が免除条件になっている者はその所属する事業所及び代表者の捺印をして証明すること。

3. 受験願書へ添付すべき書類

(1) 1次試験免除申請者で、測量士又は測量士補が免除条件になっている受験者は、それらの登録通知書の写しを添付すること。

(2) 所属した事業所が現存しないとき、又は事業所に所属しないときは、記載事項が真実である旨の申請者の誓約書を添付すること。

(3) 誓約書は、当協会の所定の様式を使用すること。

4. 受験願書類の提出部数

	項目	部数	備考
1	受験願書 1/2	1	必須
2	受験願書 2/2	1	2回目以降の受験者で合格科目がある場合
			沿岸1級、港湾1級を申請する場合
			2級での実務経歴で1次免除を申請する場合
3	別紙	1	2級での実務経歴で1次免除を申請する場合
4	誓約書	1	実務経歴の記載事項欄で所属した事業所の証明が得られない場合
5	測量士の登録通知、 測量士登録通知書 測量士登録証明書の いずれかの写し	1	1級又は2級の受験者で基準点測量の免除申請をする場合
6	測量士補の登録通知 測量士補登録通知書 測量士補登録証明書の いずれかの写し	1	2級の受験者で基準点測量の免除申請をする場合

5. 提出先

受験願書に必要事項を記入し必要な書類、写真を添付して①、②の通りに申込みをして下さい。

- ① 下記の住所に送付する。
- ② 必ずE-mailにて受験願書を送付した旨の連絡をする。(できれば願書の添付もする。)

住 所：〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-6-6 第一総合ビル 6F
一般財団法人 日本水路協会 技術指導部

E-mail：gijutsu@jha.jp 電話：03-5708-7076

(実務経歴欄及び従事した主要水路測量欄記入例)

水路測量に関する実務経験		事業所代表者の証明を受けること。 証明の得られない場合は別紙誓約書を添付すること。							
番号	事業所				実務経験年数			証明区分	
	名称	所属部課	所在地	所属期間	従事比率	年	月	証明書	誓約書
1	日本水路測量(株)	技術部測量課	東京都大田区羽田1-12-6	2021年3月 2008年8月	70%	8	10	○	
2	(株)近畿港湾調査	海洋調査部技術課	神戸市生田区小津1-5	2003年3月 1996年10月	70%	4	7		○
3	〃	〃調査課	〃	1996年3月 1992年4月	70%	2	10		○
4				年 月 年 月	%				
5				年 月 年 月	%				
実務経験年数合計 16年 3か月								この欄に○印を付けて区分すること。	
従事した主要水路測量 (上記の実務経験について、それぞれの番号に対応させて記入のこと。) 記載が必要なのは、港湾2級での1次試験免除を申請する場合での「港湾の測量実務6年以上」に限る。									
番号	作業の名称	水路測量の種類				作業期間			
		①	②	③	④	年	月		
1	横須賀港深淺測量	○		○	○		2.5		
2	名古屋港○○埠頭水路測量	○	○	○	○		1.0		
1. 水路測量の種類は、①基準点測量、②海岸線測量、③潮汐観測、④水深測量(海上測位を含む)である。 2. 番号は、「水路測量に関する実務経験」欄の番号と対応させること。 3. 従事した水路測量の種類の種類に○印を記入のこと。									

* 実務経験年数により「港湾2級の1次試験免除」の申請をする場合は事前にご連絡ください。

一般財団法人日本水路協会 技術指導部 電話：03-5708-7076

* 実務経験年数の従事比率は、通常71%以下となります。

(1年間の労働日数を260日として、260日/365日=0.71)

* 受験願書類は、受付締切日までに当協会必着のこと。

* 受験料は、検定試験案内の別表2のとおりです。

* 受験料の振込みがない場合、受験はできない場合があります。

一般財団法人 日本水路協会認定
水路測量技術検定試験

受 験 願 書

2021年度

写 真

1. 最近6カ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面の写真
2. 大きさ3.5cm×4.5cm
3. 裏面に氏名・生年月日及び撮影年月日を記載のこと
4. のりで貼りつけること

<input type="checkbox"/> 初回受験	<input type="checkbox"/> 2回目以降受験	前回受験年度	年度
-------------------------------	----------------------------------	--------	----

試験の種類	<input type="checkbox"/> 1次	<input type="checkbox"/> 2次
-------	-----------------------------	-----------------------------

受験する級	<input type="checkbox"/> 沿岸1級	<input type="checkbox"/> 港湾1級	※受験番号
	<input type="checkbox"/> 2級		

氏名	フリガナ	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
		S・H	年 月 日生
連絡担当者	フリガナ	メールアドレス	
勤務先 名称	フリガナ	メールアドレス	
勤務先 住所 (フリガナ)	〒	電 話	
連絡先 住所 (送付先住所) フリガナ	〒	電 話	

沿岸1級及び港湾1級の受験の場合

- 沿岸海域の測量経験5年以上 港湾及びその付近海域の測量経験5年以上

基準点測量免除申請 (免除を申請する者は測量士(補)登録通知などの写を添付のこと。)

<input type="checkbox"/> 測量士	登 録 番 号	登 録 年 月
<input type="checkbox"/> 測量士補		

試験免除申請	試験案内の次の項を参照	※ 検 印
	6. 1次試験の免除 7. 1次試験免除の特例	
<p>(2級)</p> <p><input type="checkbox"/> 年度2級研修修了</p> <p><input type="checkbox"/> 港湾等の測量経験6年以上</p> <p><input type="checkbox"/> 沿岸1級又は港湾1級の1次合格者</p> <p><input type="checkbox"/> 沿岸2級又は港湾2級の1次合格者</p> <p><input type="checkbox"/> 合格科目がある</p> <p>(港湾1級) (沿岸1級)</p> <p><input type="checkbox"/> 合格科目がある <input type="checkbox"/> 合格科目がある</p>		

合格科目の確認（合格した科目の記入欄に○印を記入のこと。）

沿岸 1 級	記入欄	港湾 1 級	記入欄	2 級	記入欄
法 規		法 規		基準点測量	
基準点測量		基準点測量		水深測量	
水深測量		水深測量		潮汐観測	
潮汐観測		潮汐観測			
海底地質調査					

水路測量に関する実務経験

実務経験は、下欄に記入し事業所代表者の証明を受けること。
証明の得られない場合は別紙誓約書を添付すること。

番号	事業所				実務経験年数			証明区分	
	名称	所属部課	所在地	所属期間	従事比率	年	月	証明書	誓約書
1				年 月 年 月	%				
2				年 月 年 月	%				
3				年 月 年 月	%				
4				年 月 年 月	%				
5				年 月 年 月	%				
6				年 月 年 月	%				
7				年 月 年 月	%				
8				年 月 年 月	%				
実務経験年数合計 年 月								この欄に○印を付けて区分すること。	

従事した主要水路測量

別紙に記載（記載要領は受験の手続きを参照すること。）

記載が必要なのは、2 級での 1 次試験免除を申請する場合での「港湾の測量実務 6 年以上」に限る。

上記のとおり相違ないことを証明する。

年 月 日

所在地

事務所名

代表者

印

「受験手続の手引」をよく読んで、間違いのないように記入すること。
記入欄が不足するときは、用紙を継ぎ足して記入すること。

誓 約 書

水路測量に関する実務の経歴（証明のないもの）の記載は
真実であることを誓約します

（西暦） 年 月 日

住 所

氏 名

印

（自署）

一般財団法人 日本水路協会

会 長 殿

水路測量技術検定試験

2級検定試験

- ◆ 受験資格 2級はどなたでも受験ができます。
- ◆ 試験期日 2021年10月22日(金)
1次試験(筆記)・2次試験(口述)
- ◆ 受験願書受付 2021年9月10日～2021年10月13日
- ◆ 試験会場 東京都

1級検定試験 沿岸1級・港湾1級

- ◆ 受験資格 測量実務経験5年以上が必要です。
- ◆ 試験期日 2021年11月26日(金)
1次試験(筆記)・2次試験(口述)
- ◆ 受験願書受付 2021年10月15日～2021年11月16日
- ◆ 試験会場 東京都

【参考テキスト】 水路測量 第1巻、水路測量 第2巻、水路測量 第3巻
水路測量関係規則集、海洋調査技術マニュアル 深淺測量

※ 2021年度2級水路測量技術研修受講者の方の受験願書受付については、研修修了後に受付を開始します。

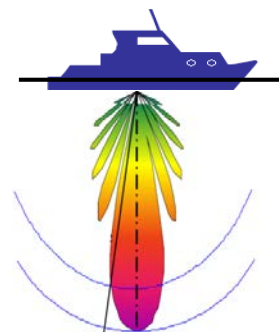
詳細は当協会ホームページ、<https://www.jha.or.jp/> の



海洋調査技術者の養成・検定 をご覧下さい。

【お問い合わせ先】

(一財)日本水路協会 技術指導部
T E L . 03-5708-7076
F A X . 03-5708-7075
E-mail. gijutsu@jha.jp



研修会場案内図

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、試験会場を変更させて頂く場合があります。



一般財団法人 **日本水路協会**

〒144-0041

東京都大田区羽田空港 1-6-6 第一総合ビル 6階

Tel: 03-5708-7070 / Fax: 03-5708-7072

営業時間 9:30 ~ 17:00

(土曜・日曜・祝日・年末年始は休み)